

41. みんなあつまれ “ふれあい：寺小屋”

グループ名 しもとうま 下当間ふれあいサロン いちご 一五の会
代表者 原田 勝

① 活動の目的

「地域は一家族」「住んでよかった下当間」を軸に、高齢者の「居場所」のみでなく、地域の子ども達を地域活動に巻き込みながら、子供たちの夏休み期間の7日間、「共に学び」「共に遊び」を通じて、より一層寄り添い「地域の子どもは、地域で守り育てる」を実施しながら、世代間交流を深め、地域の活性化とともに「子ども達の健やかな成長を支えられる地域づくり」を目指します。

② 活動概要

子ども達を取り巻く環境の変化により、地域とのつながりが希薄となり、子供たちに寄り添う機会も減少し、異世代との交流が激減している。

ふれあい寺小屋宅施に当たり、県立藤枝北高生（2人）下当間町内会3役（3人）各PTA関係保護者（2名）一五の会（5名）ひだまりの会（2名）計14名の参加により、企画会議を2回（6/1、7/6）開催、高校生を主体に開催日時、イベント内容の決定をしました。

対象は下当間地区の小学生及び広幡全地区（8町内）とし、夏休み期間7日間（7/30、8/2、8/5、8/8、8/19、8/22、8/25）町内の久保田公会堂、下当間公会堂、広幡小学校体育館を会場に開催しました。

午前10時から30分間は勉強を中高生がサポート、15分間の休憩（おやつタイム）の後イベント（やさしい防災、福祉、楽しいスポーツ、おにぎり作り、かき氷、デザート作り、スイカ割、紙芝居、本の読み聴かせ、笛の演奏、工作、流しそうめん等）に学年の壁を越え、貴重な体験をいたしました。

参加者

（7日間）

（人）

	小学生	中学生	高校生	大学生	大人	合計
参加者	55	2	15	3	26	102
延人員	295	5	38	3	125	466

本年度は天候にも恵まれ、7日間スケジュール通りの開催、無事故のうちに終了することが出来ました。



やさしい おねえさんと お勉強



“震度6”って すごいね



初体験“車いす”

じょうずに乗ることが出来ました。



自分たちで作ったデザート

“おいしかった。”



流しそうめん 最高！！



手作りのおにぎり おいしかったよ。



はじめての“ペタンク”

楽しかったよ。



“ぶんぶんこま” うまく回ったよ。

9/7(土) 県立北高校生(6名)を含めた関係者(18名)で次回開催に向けての総合反省会を開き、建設的なご意見等いただき、次回(第6回)の糧といたします。

「ふれあい：寺小屋」を体験した中学生高校生がボランティアとして事業を支える人に成長していただければ「ふれあい：寺小屋」の「真」の意味が達成できると考えております。

私たちが、無理をせず身の丈に合った活動で、二度とないシニア生活を楽しんでいます。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円	
支 出	謝礼金	お手伝い	12,000円
	需用費	コピー、写真	10,084円
		事務用品、用紙	20,498円
		おやつ(休憩時)	30,773円
	サブイベント	(スイカ割、かき氷、流しラーメン)	30,343円
	使用料	会場	22,000円
	役務費	保険代	11,760円
	合 計	137,458円	